

女性経済フォーラム:女性と経済に関するハイレベルな政策対話 議長声明

1. 2022年9月7日、APEC閣僚および首席代表は、APEC女性と経済フォーラム(WEF)のためにタイのバンコクに集結した。我々はまたAPECビジネス諮問委員会(ABAC)の参加を歓迎した。新型コロナウイルス感染症拡大(以下、パンデミック)によりこの2年間はオンライン形式の会議のみの繋がりであったが、今回ハイブリッド形式で開催することができた。全ての人々が安全で有効かつ品質が保証された安価なワクチンを公平に入手できるようになっていること、また、あらゆるレベルでその他の公衆衛生戦略や対策が実施できるようになったことで、パンデミックからの回復の見込みある状況に我々は勇気づけられている。我々は、全てのAPECメンバーに対し、APEC地域の包摂的で公平かつ持続可能な経済回復に向けた取組を続けるよう呼び掛けている。
2. 現下の情勢について様々な意見が表明された。会合では女性に対する格差拡大と不平等の拡大についての懸念が示されたほか、女性のエンパワーメント、女性の価値ある経済参画の促進、女性の生活を改善するための努力を強化することが急務であることが強調された。これに関し、女性の活躍を可能にし、推進する環境が、APEC地域の包摂的かつ持続可能な経済成長に不可欠であるとの見解が表明された。また、会合では、多様な背景を持つ女性と女兒、特に脆弱な状況にある女性と女兒に対するあらゆる形態のジェンダーに基づく暴力や差別を防止・撤廃する必要性のほか、健全な関係を促進し、ジェンダーに基づく暴力の根底にあるリスク要因に対処する必要性が強調された。
3. 会合では、全ての人々と未来の世代の繁栄のために開かれた、ダイナミックで強靱かつ平和なアジア太平洋共同体とすることを目指したAPECプトラジャヤ・ビジョン2040およびアオテアロア行動計画に沿って、ジェンダー平等、女性のエンパワーメント、持続可能かつ包摂的な経済を推進し、新型コロナウイルスの長期的な悪影響からの復興へ我々のコミットメントを改めて述べ、意義のある行動の必要性を強く支持し、以下について合意に達した。
4. 我々は、女性と包摂的な成長のためのラ・セレナ・ロードマップ(2019-2030)(ロードマップ)の実施を加速させるコミットメントを再確認する。ロードマップは、引き続き我々の取組の指針となるほか、先住民の女性や、場合によっては、障害を持つ女性、遠隔地域・農村地域で生活している女性など、経済的潜在力を持つ女性を含むアジア太平洋地域の女性のエンパワーメントとジェンダー平等を推進するうえでAPEC全体の政策を促すものとなる。我々はロードマップの主要な活動領域における進展を強化し、維持させることに尽力している。このように、私たちは資本と市場へのアクセスを通じた女性の経済的自立、女性の労働参加の強化、全ての意思決定レベルにおける指導的地位への女性のアクセス改善、女兒や女性のための包摂的で質の高い教育・トレーニング・技能開発の優先とアクセスを支援すること、高品

質で時機に合うかつ信頼できる男女別データの収集・分析を通じた女性の経済的自立の推進に尽力する。

5. 我々は、女性と経済フォーラム(WEF)2022のテーマ「バイオ循環型グリーン(BCG)経済を介した女性のエンパワーメント」を通じて想定される持続可能かつ強靱な経済と社会を歓迎する。BCG経済モデルは、3つの経済アプローチを統合し相乗効果をもたらすものであり、技術とイノベーションが価値を創出し、廃棄物を削減し、持続可能なビジネスモデルを推進することに活用されている。我々は、先住民の女性、場合によっては、障害を持つ女性、遠隔地域・農村地域で生活している女性など、最も脆弱な立場にある人々が、気候変動、海洋ごみ、リサイクルされていない廃棄物の影響やエネルギーアクセスの不均衡な影響によって過度な負担を強いられることが多いことを認識している。しかし、女性と女兒は、BCG経済モデルを促すために、有意義で効果的かつ適切な解決策を生み出すことができる。そして、あらゆる意思決定レベルにおける女性の完全かつ平等で有意義な参加とリーダーシップは、また、必要に応じて女兒についても、環境の持続可能性の発展や復興の努力をより効果的に行うために、非常に重要であると認識している。
6. 我々は、パンデミックが、引き続き多様な背景を持つ女性と女兒に不均衡な影響を及ぼし、複数の領域に存在しているジェンダーの不平等を悪化させていることに対し懸念を表明する。パンデミックは、接客業や食品サービス業、卸売業、小売業、有償の家事労働、育児・介護分野、製造業における労働集約している部門など、女性が主流となっている分野に極めて大きな影響を及ぼした。被害の大きかった分野の中でも、低賃金で労働するインフォーマル雇用の女性は、パンデミックによる影響を最も大きく受けている。また、女性の雇用回復はとりわけ脆弱であり、パンデミック前の雇用水準への回帰が男性に比べ遅れている。女性、特に無償の育児・介護や家事を担う女性は、特にロックダウンやステイホームの発令期間の家事負担が増大している。ジェンダーに基づく暴力は、依然として広く蔓延する課題であり、パンデミックによって悪化し、女性と女兒の教育・経済への参加を妨げている。隔離による虐待者への接触機会の増加、支援へのアクセスが困難であること、ストレスの増加、経済的緊張などの要因が、女性と女兒に対する暴力の発生率を高めている。
7. パンデミックは、多くの人々に数多くの課題をもたらしたが、同時に働き方やビジネスのあり方も転換させ、一部の女性にとって新たな可能性を切り開いた。BCG経済の台頭により女性は、新たなビジネスの展望や、パンデミック回復時にオンラインプラットフォームを使用して、あるいはグリーン経済に参入するなど、更なる雇用の道を得る可能性がある。多様な背景を持つ女性や女兒がこうした新たな機会を利用するためのツールや、情報通信技術の設計・実装において平等な機会を活用するツールを身に付け、政策決定やその指針となる枠組みにおいてジェンダーの視点を主流化させるには、インターネットへの公平なアクセスの確保やデジタルスキルのトレーニングを通じて、ジェンダー間のデジタル・ディバイドを埋めることが重要であると、我々は強調している。また我々は、無償の育児・介護や家事における不平

等への対処、インフォーマル経済からフォーマル経済への移行、金融や市場へのアクセスに関し、こうした変革を可能とするための制度的支援が必要であることも強調する。

8. 我々は、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進に寄与しているパンデミックからの包摂的で公平かつ持続可能な回復の推進の重要性を強調する。女性と女児のエンパワーメントは持続可能な復興の重要な要素である。復興政策や計画では、新型コロナウイルス感染症により、女性の経済的自立の進展が阻まれた分野に注目する必要がある。達成のためには、我々はあらゆるレベルでのリーダーシップおよび意思決定において、完全かつ平等な意味のある女性の参加と、多様な背景を持つ女性と女児が復興の機会や可能性に参加し、利益を得るために十分に力を発揮することを妨げ続けている障壁を除去することを通じた、ジェンダー主流化の重要性を強調する。
9. 我々は、以下のような、あらゆる経済活動への女性の完全かつ平等な参加を阻む全ての障壁に対処するという我々の共通のコミットメントを強調する。女性の資金調達や貸付へのアクセスを阻むジェンダーに基づく差別、所有権を含む女性の土地保有権・財産権の拒否、低賃金で安全性の低いインフォーマルな仕事における女性の過剰参加、労働における差別、特にフォーマル・インフォーマルの両部門やサプライチェーンで就労する個人に対する差別、ジェンダーに基づく暴力、嫌がらせ、賃金未払い、同一労働または同一価値の労働に対する不平等な賃金、無償育児・介護・家事に対する不平等な負担、手の届く質の高いケアサービスへのアクセスの欠如、男性主流で高賃金の産業への女性にとって機会が不平等となる職業分離、科学・技術・工学・数学(STEM)分野およびキャリアにおける女性の継続的な参加不足、あらゆるレベルでの女性のリーダーシップおよび完全かつ平等な意味のある参加に対する障壁。
10. 我々は、女性と女児、特に、面倒を見ている幼児や、病を抱えている者、障害者、高齢者がいる女性の無償の育児・介護や家事を認識し、軽減し、平等に再分配するための政策を取り入れる必要性を認める。これは、女性と女児が、男性と男児に比べて多くの時間を無償の育児・介護に充てているためである。我々は、有害な規範やジェンダー・ステレオタイプに対する意識を高め、対処する必要性や、男性と女性の間で無償の育児・介護や家事の共同責任を促進するために、男性と男児をジェンダー平等の代理人および当事者として関与させる必要性を強調する。また、手の届く質の高いケアサービスへのアクセス、有償のケア労働者に対する社会的保護の提供、女性および男性労働者に対する柔軟な家族休暇や育児・介護休業へのアクセス、家族手当・児童手当へのアクセスなど、育児・介護の共同責任や個人・家庭・仕事の生活の調和に寄与するような解決策や働き方の柔軟性の対策を開発すること、また、女性と女児の家事の責任管理の負担軽減のための革新的な解決策を開発することが重要であることを強調する。

11. APEC エコノミーが新型コロナウイルス感染症の影響から回復する中、我々は各エコノミーの経済におけるジェンダー平等の推進に尽力する。分野を超えた戦略、政策、計画では、ジェンダー主流化のアプローチを統合し、その全ての段階でジェンダー平等を推進すべきである。我々は、必要に応じて意思決定、投資および行動についての情報を提供する目的で、全ての関連するフォーラム・サブフォーラムにて、STEMトレーニングやキャリアデータを含む男女別データの収集、分析、普及への我々のコミットメントを再確認する。男女別データは、多様な背景を持つ女性と女兒が、公平な政策アプローチを必要とする複合的な差別の結果、いかに不均衡な影響に直面する可能性があるかについて分析する必要もある。APEC 女性と経済ダッシュボードを含む質の高い、時機に合うかつ信頼できる男女別データへのアクセスを、真の経済回復状況の主要な追跡情報として利用する必要がある。
12. 我々は、あらゆる形態のジェンダー平等と女性の経済的自立の実現には、制度的・構造的な障壁、多様な形態の差別、女性に対するあらゆる偏見に取り組むための総体的かつ多角的アプローチが必要であると認識する。例えば、多様な背景を持つ女性は、貸付や資本へのアクセス、フォーマル労働市場への参加や、労働市場への参入・維持・昇進において、男性と比較して経済的自立への複数の不均衡な障壁に直面し続けている。そのため、女性の経済的自立を向上させ、ジェンダー平等に向けての取組を改善するためには、早急かつ短期措置と並行して、政府および民間部門の長期的かつ総力的な取組が必要となる。
13. 我々は、BCG 経済モデルなどにおいて経済・社会・環境面の持続可能性のバランスを取りつつウェルビーイング全般の改善に向けて、各エコノミーの経済を転換させるとき、女性と女兒がこの包摂的な変革に不可欠な要素であることを改めて表明する。多様な背景を持つ女性と女兒がこの変革に完全に参加するための機会や障壁を明らかにし、あらゆる部門の戦略的計画に盛り込む必要がある。我々は、APEC エコノミーがジェンダーに対応したアプローチを採用し、BCG 政策にジェンダー平等を主流化することを奨励する。
14. 我々は、多様な背景を持つ女性と女兒の経済的自立を推進するため、地域や分野、APEC フォーラを超えて、パートナーやステークホルダーとの協力を強化することに尽力する。我々は、引き続き進捗、目標との差異、課題を監視・報告し、知識を共有し、ジェンダー平等、女性の経済的自立、及び包摂的成長を推進する共有のアジェンダを支持する。また、成功はジェンダー平等と女性の経済的自立を支援し、分野横断的かつ経済横断的に協力する義務のための必要不可欠かつ持続可能な発想を生み出し定着させるため、我々は規模を問わず成功を認め、称えることを推奨する。その結果、それまでの取組の継続性と持続可能性が確保されていく。
15. 我々は、女性のエンパワーメントを目的とした APEC プロジェクトの成功を称え、加盟エコノミーに対し、引き続きこうしたプロジェクトを支援し、またこれに参加を継続するよう促す。

16. 我々は、2023年 APEC フォーラムにおいて、次回の APEC 女性と経済フォーラム および関連する活動が開催されることを期待する。